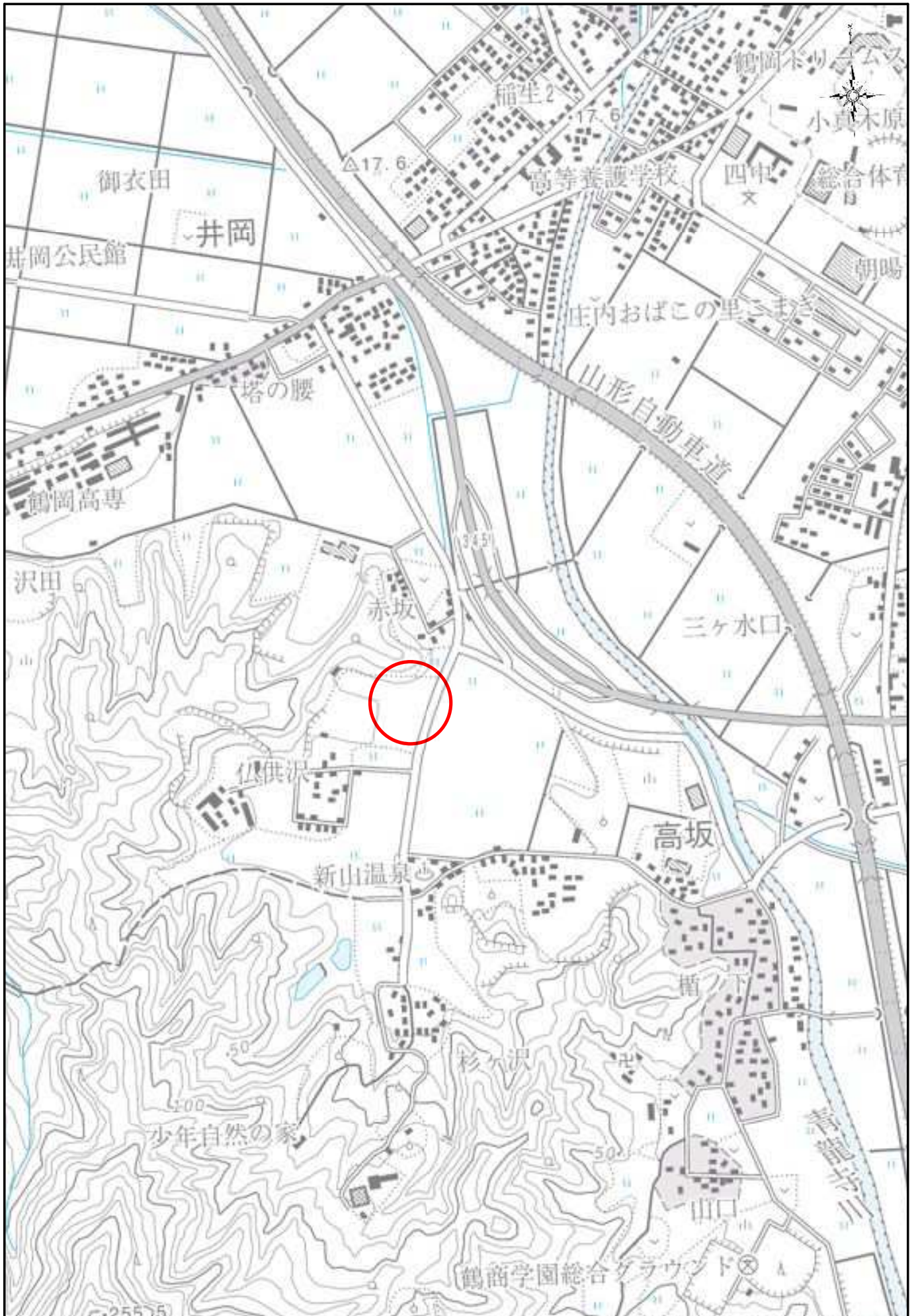


照 査 者	設 計 者

# 高 坂 地 内 耐 震 性 貯 水 槽 設 置 工 事 設 計 書



工 事 番 号		施 工 年 度	令和8年度
工 事 名 称	高坂地内耐震性貯水槽設置工事		
工 事 場 所	高坂		
施 工 主		工事概要  耐震性貯水槽設置工事 N=1基	
設 計 区 分	当初		
路 線 名			
工 事 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工 事 日 数	日		
部 課 名	鶴岡市消防本部		
積 算 担 当			
合 計 額			
工 事 価 格			
消費税相当額			

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費	道路改良工事					週休2日 月単位	労務費 1.02	
	防火水槽			式	1			
		作業土工		式	1			第 1号明細書
		貯水槽基礎		式	1			第 2号明細書
		貯水槽設置工		式	1			第 3号明細書
		貯水槽頂版・底版工		式	1			第 4号明細書
		サクション工		式	1			第 5号明細書
		舗装工		式	1			第 6号明細書
	仮設工			式	1			
		仮設工		式	1			第 7号明細書
		交通管理工		式	1			第 8号明細書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							



# 間 接 工 事 明 細 書

設 計 条 件				
工 種	道路改良工事	工事日数(内冬日数)		共通仮設費対象外額
場所区分	補正なし	週休2日工事	月単位	現場管理費対象外額
前払い率	35%超え	支給品費		一般管理費対象外額
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分費		支給共仮費対象外額
積雪寒冷地域	なし	処分除外費		

## 算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共通仮設費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \times \text{週休2日工事(月単位)補正} \\ &= \quad \% \times \quad \times \\ &= \quad \% \times \quad \rightarrow \quad \therefore \quad \% \times \quad \rightarrow \quad \therefore \quad \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現場環境改善費} &= \text{対象額} \times \text{対象額による率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} - \text{処分費} \\ &= \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

# 間 接 工 事 明 細 書

## 算 出 基 礎

$$\begin{aligned} \text{現 場 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \times \text{週休2日工事(月単位)補正} \\ &= \quad \% \times \quad \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \quad \% \times \rightarrow \therefore \quad \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{前払補正} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \quad \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$



















# 高坂地内耐震性貯水槽設置工事

## 特記仕様書

- 1 この特記仕様書は、令和8年度高坂地内に整備する40m<sup>3</sup>級地下式耐震性貯水槽の設置工事について、適用するものとする。
- 2 本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書（土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料）令和8年4月」にもとづき実施しなければならない。仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」、「共通特記仕様書」、「共通仕様書」の順とする。なお、令和8年4月以降に一部改訂された内容は、以下のホームページに掲載されているため、最新版を適用するものとする。  
※共通仕様書の一部改訂内容は、以下ページから確認できます。  
山形県のホームページ (<http://www.pref.yamagata.jp>)  
→ 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課  
→ 共通仕様書（土木工事）
- 3 共通仕様書に対する特記仕様事項は、次のとおりとする。
- 4 工事種別は、一般土木工事（道路改良工事）とする。
- 5 工事の内容
  - (1) 二次製品等耐震性貯水槽を設置するものとする。
  - (2) 地下式とする。
  - (3) 二次製品耐震性貯水槽は、一般財団法人「日本消防設備安全センター」の認定品とする。
- 6 二次製品等耐震性貯水槽の基本的事項
  - (1) 地下に埋設し、一層式で有蓋・有底の構造であること。
  - (2) 水槽底の深さは、集水ピットの部分を除き、概ね取水可能な深さであること。
  - (3) 集水ピットを有すること。
    - ア 吸管投入孔及び連結立管の直下に設けること。
    - イ 内寸法は1辺が60cm以上又は直径が60cm以上で、深さは30cm以上であること。
  - (4) 吸管投入孔を有していること。
    - ア 頂版部に1箇所以上の投入孔を取り付ける。
    - イ 原則として丸型とし、内径60cm以上とする。
    - ウ 蓋の材質は、JIS G 5502のうちFCD600以上の強度及び耐食性を有するものとする。
    - エ 吸管投入孔の地表部と水槽本体を結ぶ連結立管を設けるものとする。
    - オ その連結立管は、鋼製又はこれらと同等以上のものとし、水平方向荷重によってずれないように水槽本体に固定する。
  - (5) 維持管理用のはしご等を設けるものとする。

- ア 埋め込みの場合は、部材等の埋め込み部が漏水の原因とならないように措置すること。
- イ 部材は、錆等の侵食危険のないものを使用すること。
- (6) 鉄筋（コンクリート二次製品の場合）
  - ア JIS G 3112に適合するSD295又はSD345が使用されていること。
  - イ 直径13mm以上の異形鉄筋が、30cm以下の中心間隔で配置されていること。
  - ウ 鉄筋被りは、内側3cm以上、外側5cm以上のものであること。
- (7) 水槽の容量は、40<sup>m</sup>型にあつては40<sup>m</sup>以上であること。  
容量の算定にあつては、集水ピット及び吸管投入孔の容量を含めないものとし、鉄筋コンクリートのハンチ、鋼製の内部補剛材や防水性層の体積を控除する。
- (8) 部材の表示について  
二次製品耐震性貯水槽には、次に掲げる事項を表示すること。
  - ア 本体部材  
型式番号、型式記号、土かぶり厚、製造者名又は商標、水槽容量、製造番号、社内検査合格の証
  - イ 集水ピット（コンクリート二次製品の場合）  
製造者名又は商標・型式記号
  - ウ 吸管投入孔  
製造者名又は商標・型式記号
- ※ その他記載事項のないものについては、メーカーの指定による。

## 7 基礎工及び底版工事

- (1) 基礎砕石はRC-80以下とする。
- (2) 高水位域においては、砕石、水中コンクリートを使用する。（コンクリート二次製品の場合）
- (3) その他記載事項のないものについては、メーカーの指定による。

## 8 付帯工事

- (1) サクションパイプ工事
  - ア 内部管は、100AのSUS管とし、支持金具を取り付け、地上部分はSGP管とすること。  
曲り及び直管の結合部は、空気の浸入（漏洩）の恐れがないようにシーリング等十分な措置をすること。
  - イ 指定サイズのコンクリートで被覆し、地表部はポリウレタン樹脂塗料で下地：(N95) 1回塗り、表面：赤（07-40X）2回塗りとする。
  - ウ SUS管の65A通気管（空気孔）を取り付けるものとする。通気管下端は、頂版部内面とすること。
  - エ 吸口結合金具はAM-1型とする。
  - オ コンクリート部と吸管結合取手部の間は、容易に手が入る間隔にすること。
  - カ ステンレス棒は、アンカー等を用い、コンクリート部と固定すること。
- (2) 耐震性貯水槽用鉄蓋は鋳鉄製・600A・T-25用とする。
  - ア 鶴岡市章入り、通常鍵穴タイプ（取っ手なしタイプのものとし、本体に黄色着色、市章部分を青色及び白色着色とすること。配色については、発注者に事前に確認すること。
  - イ 開閉用金具として、マンホール開閉金具を2組（4ヶ）準備すること。
- (3) 防火水槽標識
  - ア アルミ合金製全面反射式600型、スライドチャンネル式とする。
  - イ ポールは、アルミ合金管60.5Aとし、サクション部背面に3ヶ所止めとする。

- (4) 銘板 アクリル樹脂板 乳白色 (タテ200mm×ヨコ100mm)
  - ア 竣工年月・発注者・請負者を入れること。
  - イ サクシオン部側面中央部にビス止めするものとする。(4ヶ所)
- (5) 工事に伴い、一部取り壊しを要する隣接地の構造物については、原状復旧すること。

## 9 段階確認

- (1) 丁張り確認
  - (2) セグメント等の組み立て前の部材検査 (搬入時)
  - (3) 水張り3日後の水位確認
  - (4) 水張り14日後の水位確認
  - (5) その他、二次製品メーカーの指定により行うもの。
- ※ 事前に確認願いを提出するものとする。

## 10 水張りについて

- (1) 水張りは、消防本部の指定する消火栓から施工者において行う。(期日は事前協議)
- (2) 水位管理期間は14日間とし、工期に含むものとする。
- (3) 水位管理期間中、異常な減水が発見された場合には、即時担当者に報告すること。
- (4) 水張りに必要な開閉金具、消防用ホースは消防本部で貸し出すもの。

## 11 提出書類

- (1) 製品メーカー決定後、二次製品についての型式認定にかかる証明書
  - ア 認定日
  - イ 認定番号
- (2) その他の提出書類
  - ア 工事施工計画書 (下請施工、部材購入先一覧含む)
  - イ 材料承諾書
  - ウ 品質管理表
  - エ 出来型管理表 (水位管理結果含む)
  - オ 工事写真
  - カ 完成写真

## 12 履行報告

受注者は、当初の請負代金が1件1,000万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)により監督職員に提出しなければならない。

## 13 前金払について

### 中間前金払

契約約款第36条第3項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書(鶴岡市、様式第10号の2)に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)の写しを添えて提出するものとする。

## 14 安全管理

- (1) 工事現場全周にわたって防護柵・防護壁等で囲い、一般の人等が出入りできないように措置し万全を期すこと。

- (2) 掘削後の開口部は、転落防止用として安全ネット等で防護すること。
- (3) 交通誘導員の配置計画については任意とするが、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。  
なお、本工事では、工事期間中の交通整理として、交通整理員31名を計上している。

#### 15 他工事との関連事項について（工程関係）

別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

#### 16 施工時期、時間、施工方法に関する事項（工程関係）

- (1) 本工事の作業時間帯は、8:30～17:00とする。  
なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して、速やかに監督職員と協議しなければならない。
- (2) 工期には雨休率0.83※を見込んでいる。  
※ 施工に必要な日数に対し、土日・祝日・年末年始休暇（6日）夏季休暇（3日）を休日とした日数及び天候による作業不能日（1日の降雨・降雪量10mm/日以上及び8時～17時までのWGBT値31以上の時間を合計して換算した日数（過去5年平均））を見込むための係数。

#### 17 残土受入地

鶴岡市新産業団地造成地（鶴岡市大宝寺字日本国）とし、運搬距離は8.3kmとしている。

#### 18 仮設に関して

工事に際して必要とする事務所、休憩所、資材置場等の配置については、発注者と打ち合わせを実施すること。

#### 19 事故報告

- (1) 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後、速やかに工事事務報告書（山形県、参考様式5）をFAX、又はE-Mailにより提出しなければならない。
- (2) 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に関係する「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。
- (3) 工事事務報告書様式は、以下のホームページに掲載している。  
山形県のホームページ（<http://www.pref.yamagata.jp>）  
→ 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課  
→ 共通仕様書（土木工事）

#### 20 不可抗力による損害に関する事項

本工事における天災等は、共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-45第2項の各号に掲げる基準を超えるものとする。

#### 21 週休2日確保工事について

- (1) 本工事は、月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては、『鶴岡市建設工事「週休2日確保工事」実施要領』に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。

- (2) 発注者は、当初（発注）時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が完全週休2日（土日）を達成した場合、完全週休2日（土日）の補正係数に変更するものとする。

なお、現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。

- (3) 発注者は、週休2日確保工事において、月単位の4週8休以上又は完全週休2日（土日）の現場閉所を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休2日確保工事实施証明書」を発行するものとする。
- (4) 受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休2日（土日）の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にし、監督職員と協議し決定する。



(図)工事名標示板への明示の例

## 22 ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めること目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

### (1) 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

### (2) 作業依頼の配慮

ア 作業内容に見合った作業期間を確保する。

イ 休前日（金曜日など）に休日明け日（月曜日など）が期限日の依頼をしない。

ウ 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。

### (3) ワンデーレスポンスの再徹底

問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

### (4) 留意事項

ア 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限等を確認し、合意を図る。

イ 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

## 23 情報共有システム利用の対象工事

- (1) 本工事は、情報共有システムを利用することができる。ただし、契約締結後に受注者が監督職員と協議し、通信回線を確保出来ない等の理由により利用することが困難と判断した場合は、この限りでない。

- (2) 使用する工事情報共有システムは、LGWAN環境で使用できるものを選定し、監督員の承諾を得たうえで決定すること。

- (3) 情報共有システムの利用に関する費用については、共通仮設費の率分に含まれる。また、登録料及び利用料については、受注者が支払うものとする。

- (4) 情報共有システムの利用については、「鶴岡市情報共有システム利用要領」に基づき実施すること。

- (5) これらに定められていない事項は、監督職員と協議するものとする。

情報共有システムの運用にあたっては、「山形県情報共有システム運用ガイドライン」を準用し実施するものとする。ガイドラインは山形県のホームページから入手できる

山形県のホームページ (<http://www.pref.yamagata.jp>)

→ 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課  
→ CALS/EC → 山形県の情報共有

#### 24 その他

- (1) 工程の中での質疑は、書面により行なうこと。(A-4とし、下段に解答欄を設けること。)
- (2) 工事に際し、近隣住居、他施設等を毀損させた場合は、発注者に報告するものとし、指示を受け復旧するものとする。
- (3) 現況測量時に周囲の状況（電力、NTT等の架空線）を確認し、埋設物に関しては、必ず地下埋設物証明申請書兼証明書により確認すること。
- (4) 施工にともなって支障となる物件（公共汚水柵、量水器等）が判明した場合は、設計図書に関して、すみやかに監督員と協議しなければならない。
- (5) 工事に必要な官公署への手続きは、施工者の責任において速やかに行なうものとする。
- (6) 工期は、変更設計日数や境界立会等の準備に要する日数を含むものであり、契約工期の2週間前に、現場を完了するように管理すること。
- (7) 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、すみやかに監督員に連絡し、指示を仰ぐこと。了解を得ずに増工（増額）したものについては、変更の対象としない。

## 一 般 明 示 事 項

### 1 提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第3条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

また、工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画（変更）報告書を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。承諾後は、施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

### 2 施工計画書

受注者は、工事着手前に本工事の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、維持工事や小規模工事（請負金額 200 万円以下）においては、監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度、変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、変更内容が数量のわずかな増減等の場合は、後日の提出で良いものとする。

### 3 環境対策

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械の使用ができない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し、承諾を得ること。

なお、対策型を使用しない場合は、変更の対象とする。

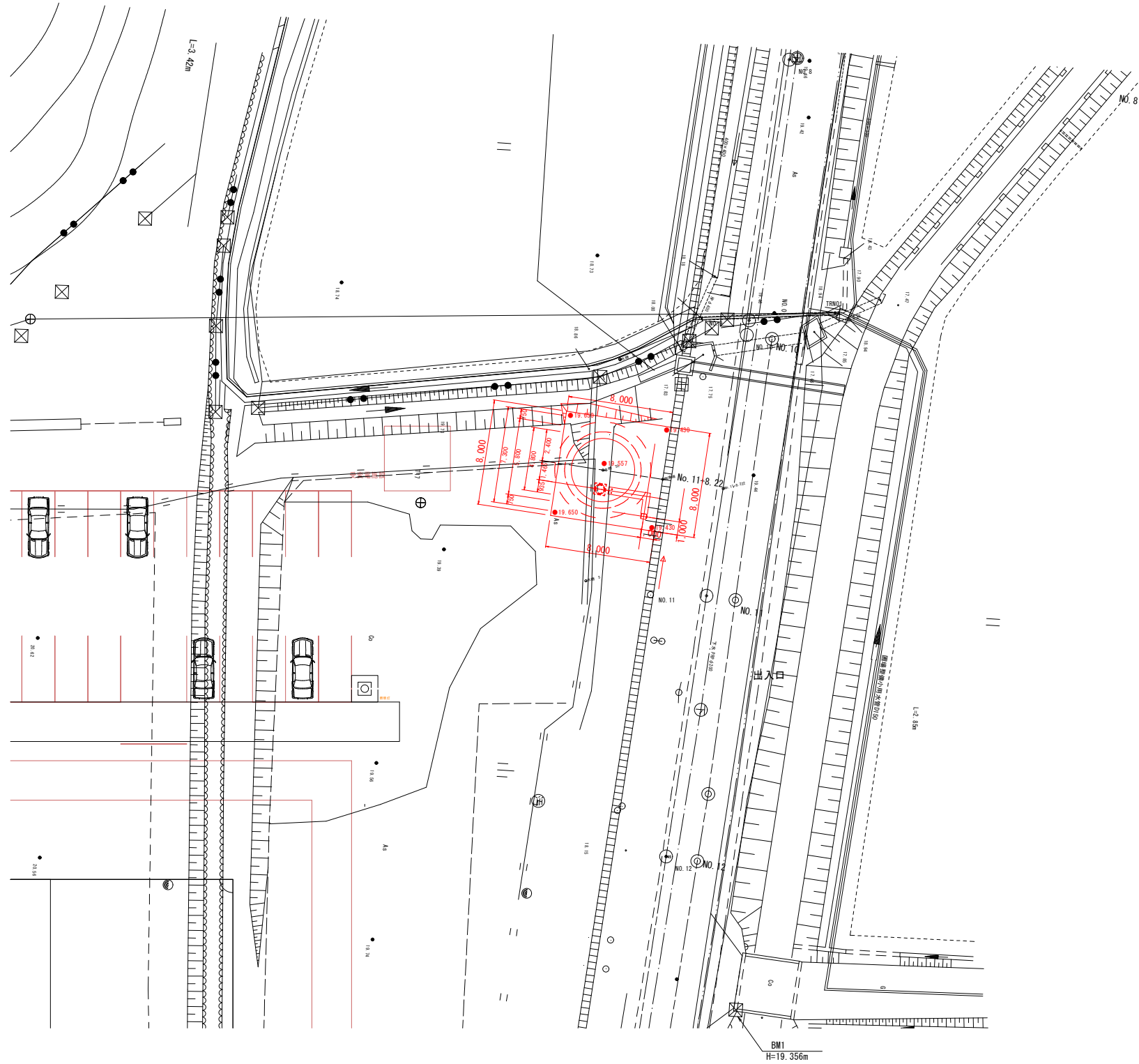
また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。



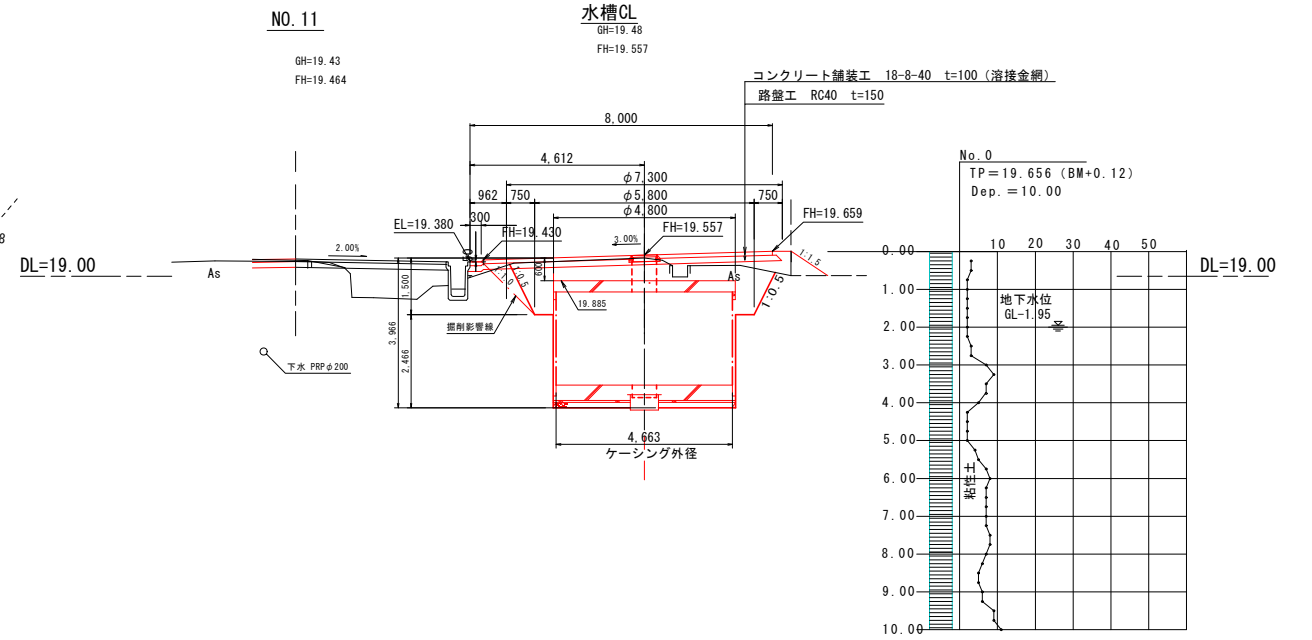


# 高坂地内耐震性貯水計画図 潜函工法

平面配置図  
S=1/200



横断面図  
S=1/100



測量の基準		既知点の名称及び座標値			備考	
測地系	既知点	座標変換	点名	X座標		
世界測地系 (測地成果2024)	10		T801	142353.451	-49464.195	
世界測地系 (測地成果2024)	10		T802	142460.752	-49540.777	
世界測地系 (測地成果2024)	10		No. 9	142352.514	-49470.458	
世界測地系 (測地成果2024)	10		No. 10	142353.560	-49471.113	
世界測地系 (測地成果2024)	10		No. 11	142371.891	-49478.112	
世界測地系 (測地成果2024)	10		No. 12	142390.222	-49487.110	
世界測地系 (測地成果2024)	10		No. 13	142398.552	-49495.109	
世界測地系 (測地成果2024)	10		水槽 SL	142360.647	-49454.277	
世界測地系 (測地成果2024)	10		測量機	142342.564	-49480.047	
世界測地系 (測地成果2024)	10		No. 11-8-22	142384.257	-49475.818	
世界測地系 (測地成果2024)	10		水準 A	142352.316	-49480.877	
世界測地系 (測地成果2024)	10		水準 B	142368.453	-49487.476	

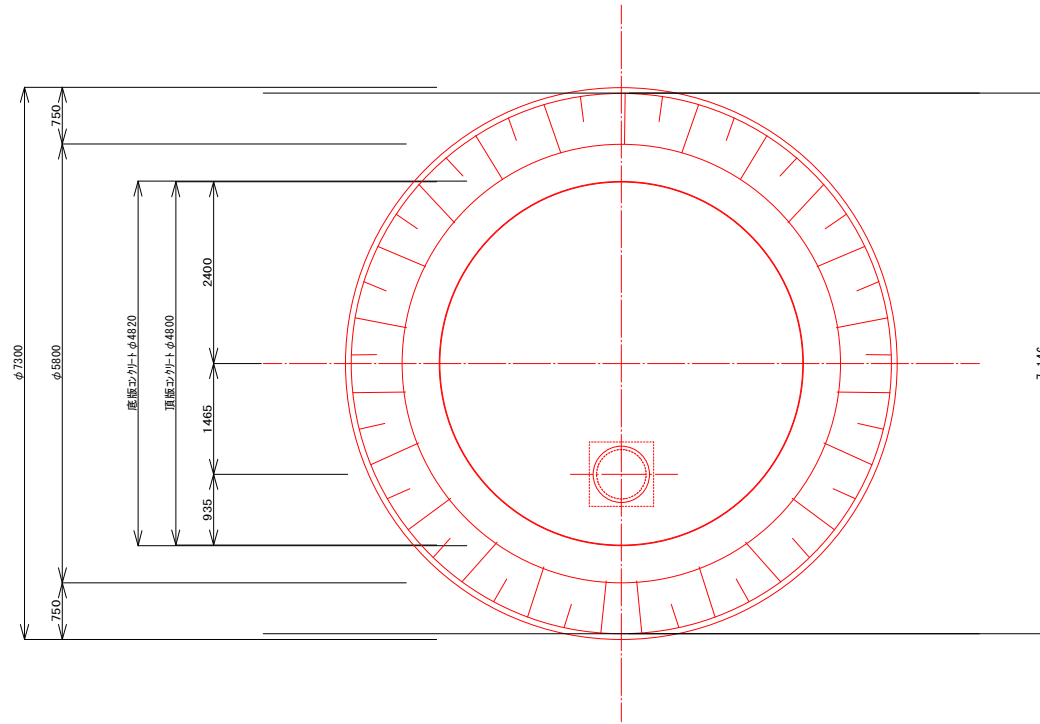
令和 8 年度	国 番	8 葉 1
路線名又は河川名		
工事名	高坂地内耐震性貯水設置工事	
位置	山形県鶴岡市高坂地内	
平面、横断面図		1 葉 1
縮尺 図示	鶴 岡 市	

# 標準土工図

S=1/50

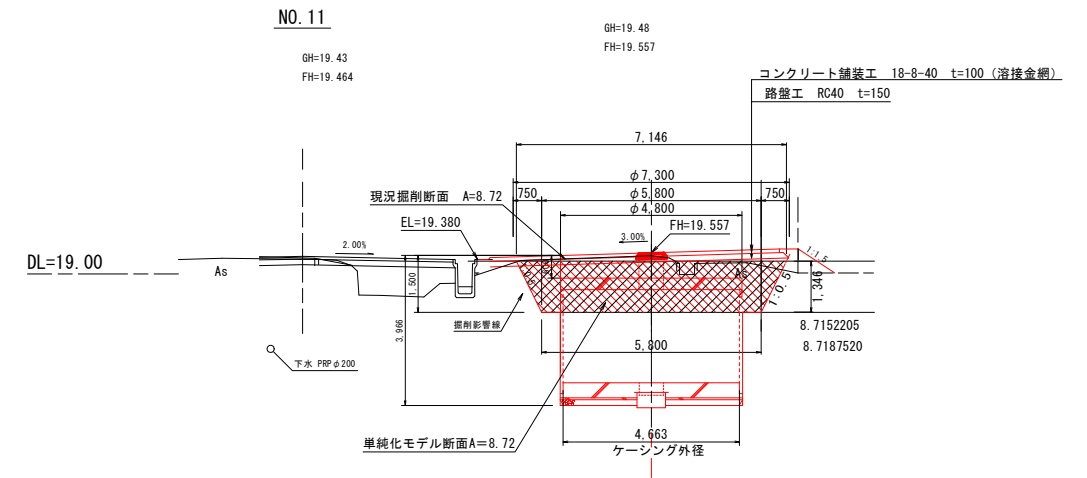
## 土工図

S=1/50

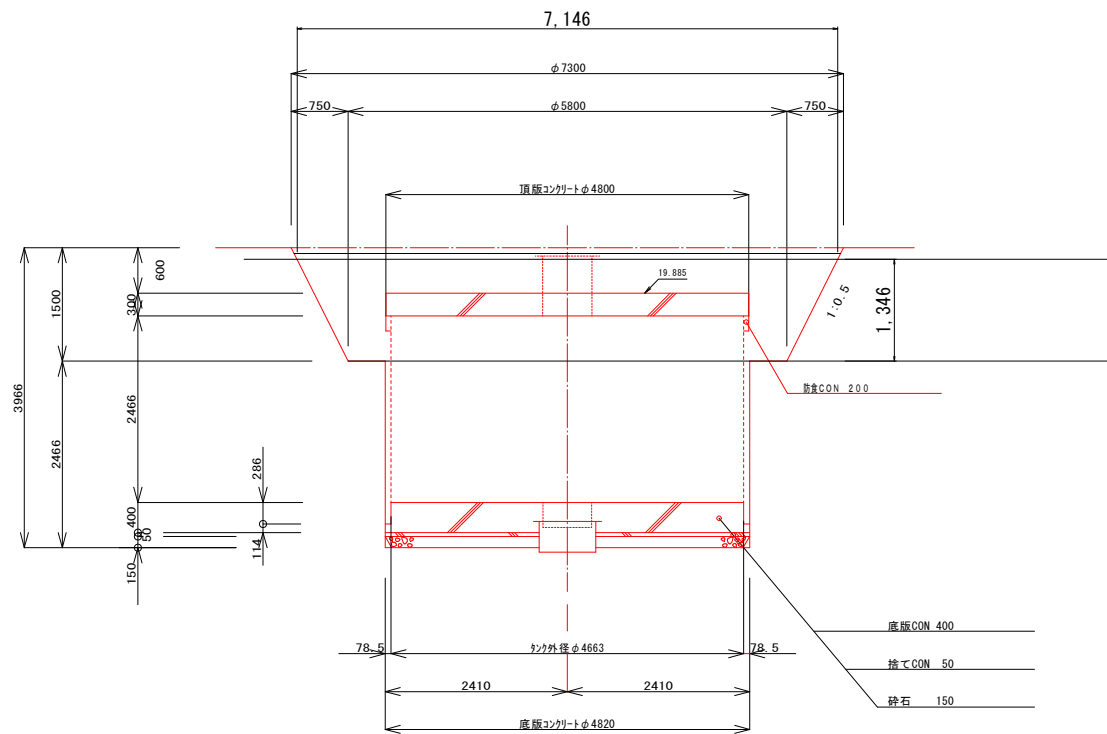


## 横断図

S=1/100



土工を単純化モデルとして計算する。  
 現況断面積 (着色箇所)  $A=8.718 \approx 8.72 \text{ m}^2$   
 単純化モデル  $H=1.346$  上幅  $WS=7.144$  とし、断面積  $AS=8.715 \approx 8.72 \text{ m}^2$   
 として計算する。



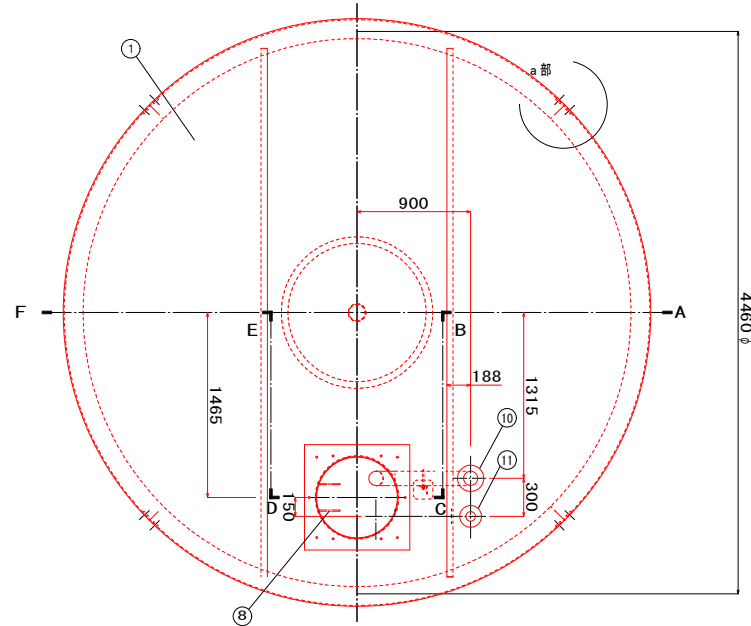
条件 … 勾配 1 : 0.5, 土被り0.6m, 余掘り1.5m

令和 8 年度	国 番	8 葉 2
路線名又は 河 川 名		
工 事 名	高板地内耐震性貯水槽新設工事	
位 置	山形県鶴岡市高板地内	
標準土工図		1 葉 1
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

# 構造図

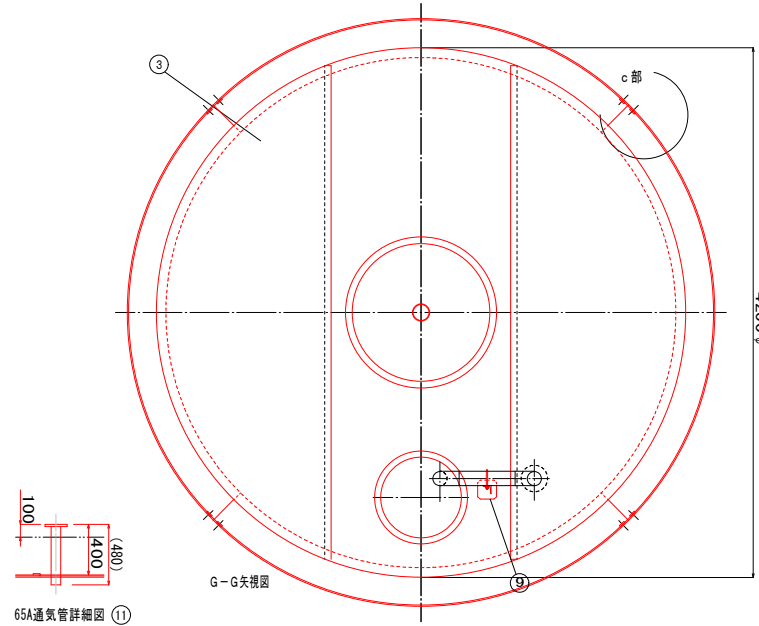
## 頂版部

S=1/30



## 底盤部

S=1/30

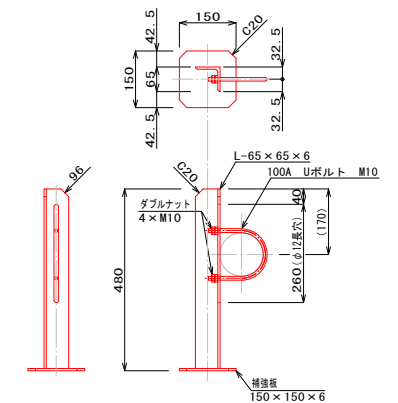


## 材料表

符号	名称	材質	備考(主材料)
①	頂板	SS400	9mm (JIS公差)
②	側板	SS400	9mm (JIS公差)
③	底板	SS400	6mm (JIS公差)
④	吸管投入孔	SS400	内径φ652×板厚4.5mm (JIS公差) 6mm (JIS公差)
⑤	集水ピット	SS400	内径φ644.6×板厚7.9mm (JIS公差) 9mm (JIS公差)
⑥	内部支柱	STPG	125A sch80
⑦	給水口		オプション
⑧	梯子取付金具		
⑨	配管支持金具	SUS304	L-65×65×6、Uボルト100A
⑩	採水管	SUS304	100A Sch10 <sub>s</sub> JIS10K SOP FF
⑪	通気管	SUS304	65A Sch10 <sub>s</sub> JIS10K SOP FF

## 配管支持金具詳細

S=1/10



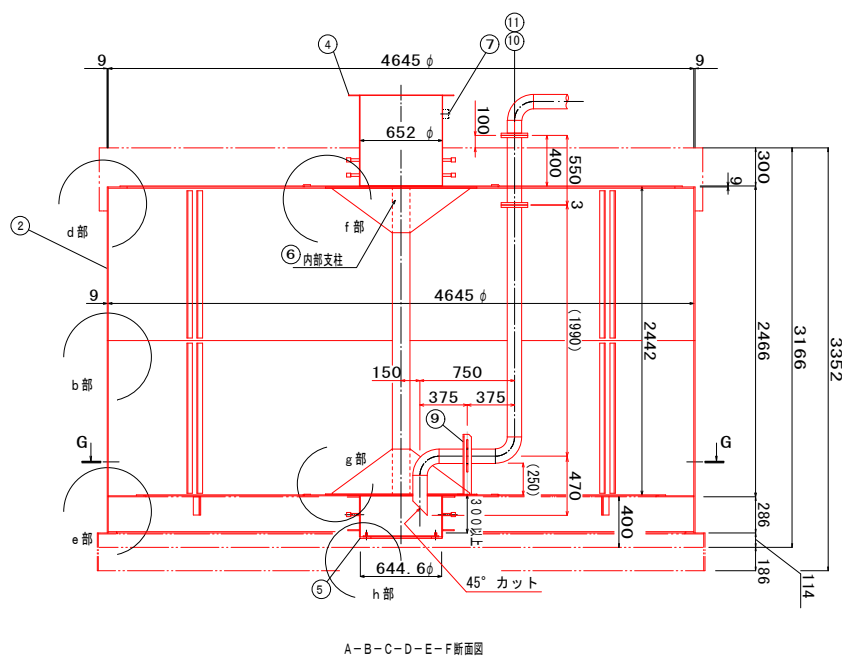
配管支持金具詳細図 1/10

材質: SUS304

※ 勝手違いでも可

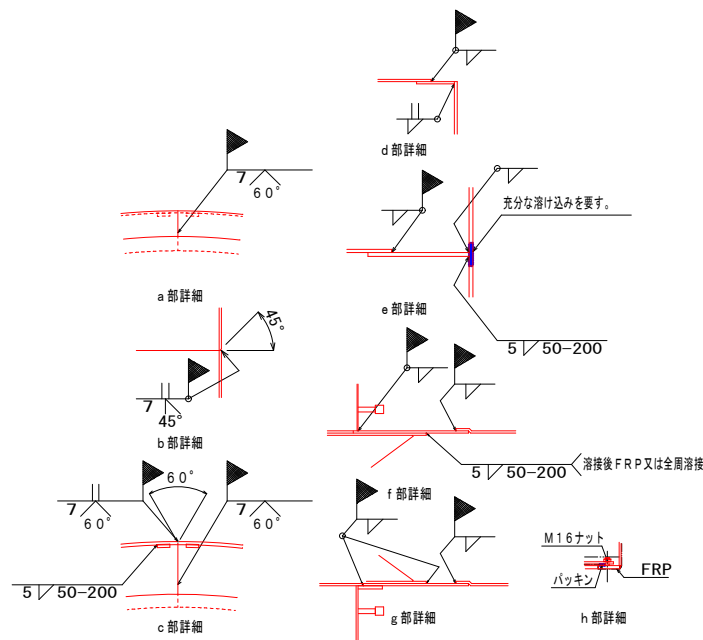
## 断面図

S=1/30

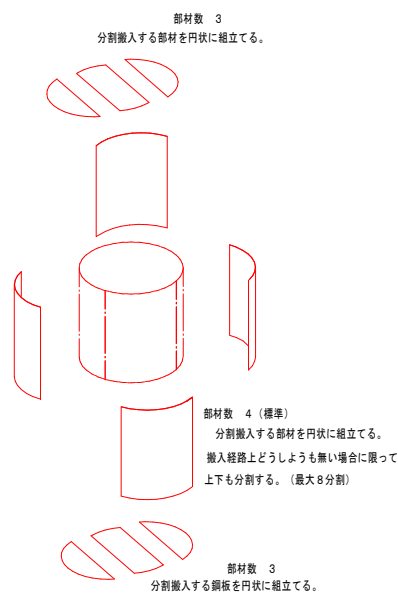


A-B-C-D-E-F断面図

## 溶接詳細



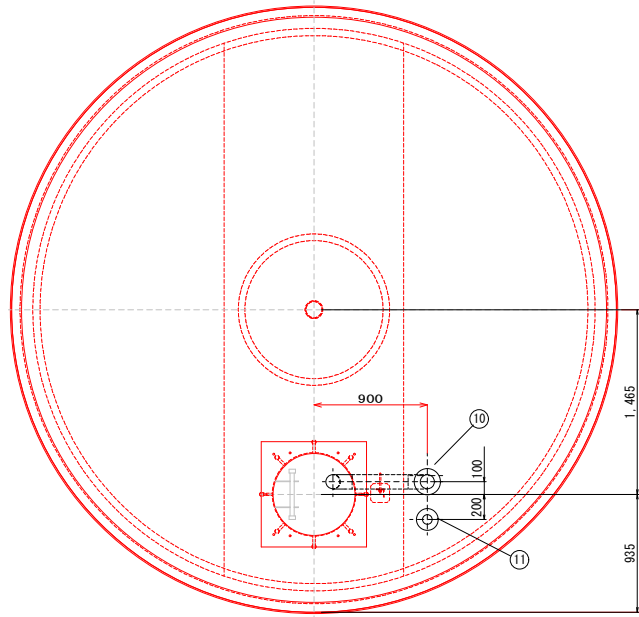
## 組立図



令和 8 年度	国 番	8業3
路線名又は 河川名		
工事名	高坂地内耐震性貯水槽新設工事	
位 置	山形県鶴岡市高坂地内	
構 造 図		1 業 1
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

貯水槽埋設図

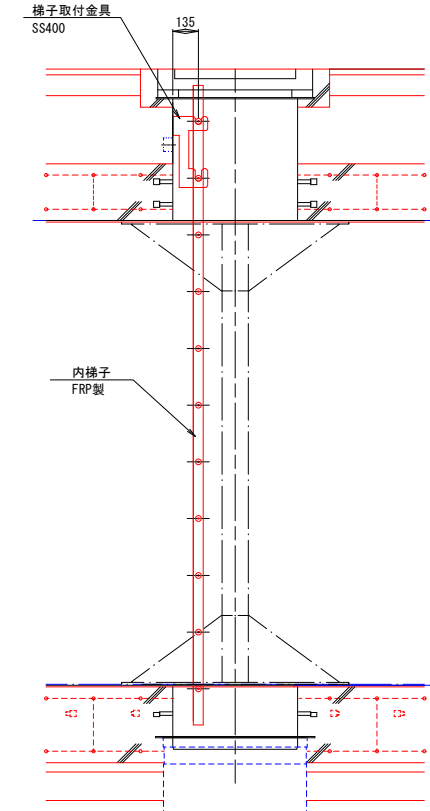
S=1/30



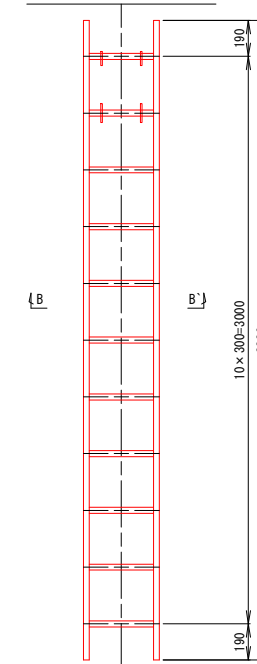
内梯子構造図

S=1/20

断面図  
S=1/20

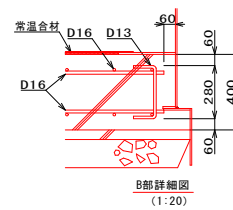
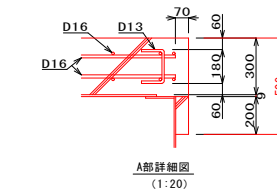
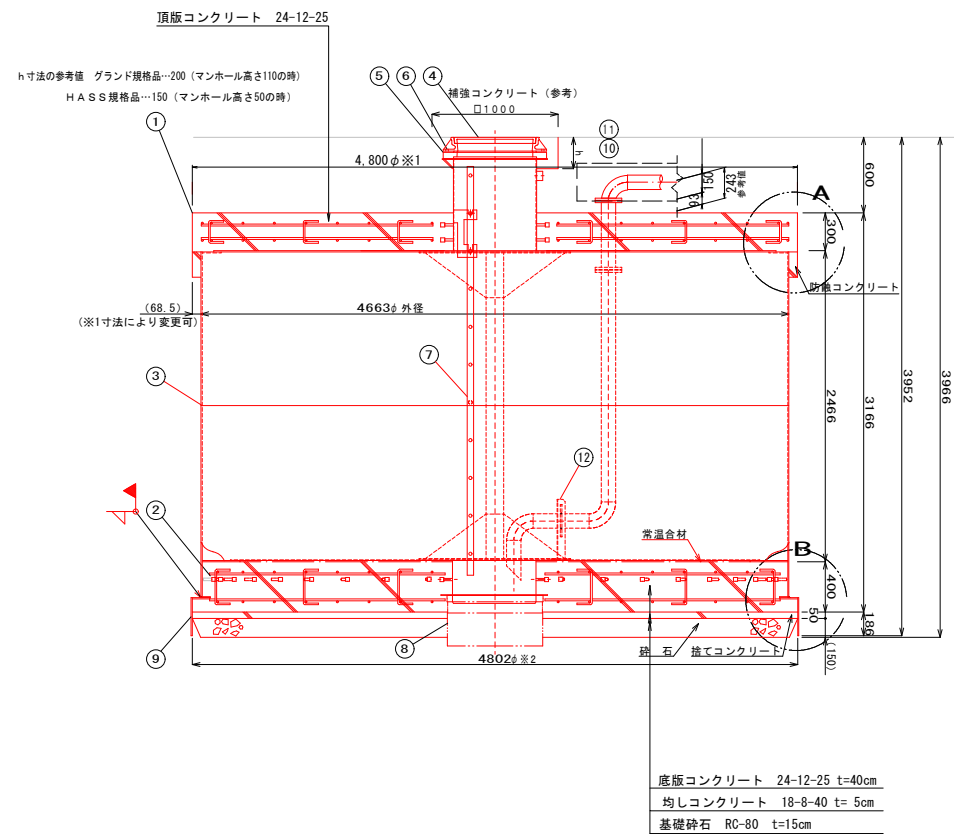
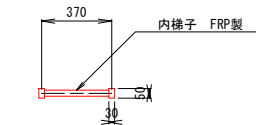


正面図  
S=1/20



注記：長さ寸法は土被り等の状況に合わせて切断する。

B-B'  
S=1/20



底版コンクリート 24-12-25  
均しコンクリート 18-8-40 t=5cm  
基礎砕石 RC-80 t=15cm

No.	名称	材質	数量	仕様	備考
1	頂版コンクリート	コンクリート 24-12-25	1		
2	底版コンクリート	コンクリート 24-8-25	1		
3	本体	SS400	1		
4	マンホール	鋼鉄	1	φ600	T25 鶴岡市章入り
5	調整リング	コンクリート	0~	φ600	
6	マンホール高さ調節ボルト、ナット	メッキ, SS400	4組		寸切りボルト及びナット H A S S規格マンホール取付のときに使用
7	梯子	FRP	1		
8	ビット外枠	SS400	1		状況により使用
9	掘削用治具	SS400	1		土質条件に合わせて寸法等を決定
10	採水管	SUS304	1	100A	JIS10Kフランジ Sch10a
11	透気口	SUS304	1	65A	JIS10Kフランジ Sch10a
12	配管支持金具	SUS304	1	L65×65×6	ボルト付

注記：本図を標準とし浮力対策必要物件では浮力条件に合わせて※1、※2を決定する。  
又、本図頂版形状が型枠の関係上円形に出来ない場合、※1でφ4800以上になる多角形とする。(なるべく円形に近くなるよう施工する。)  
基礎部※2を変更する場合はそれに合せ掘削用治具を製作する。

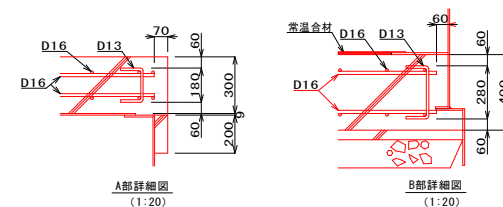
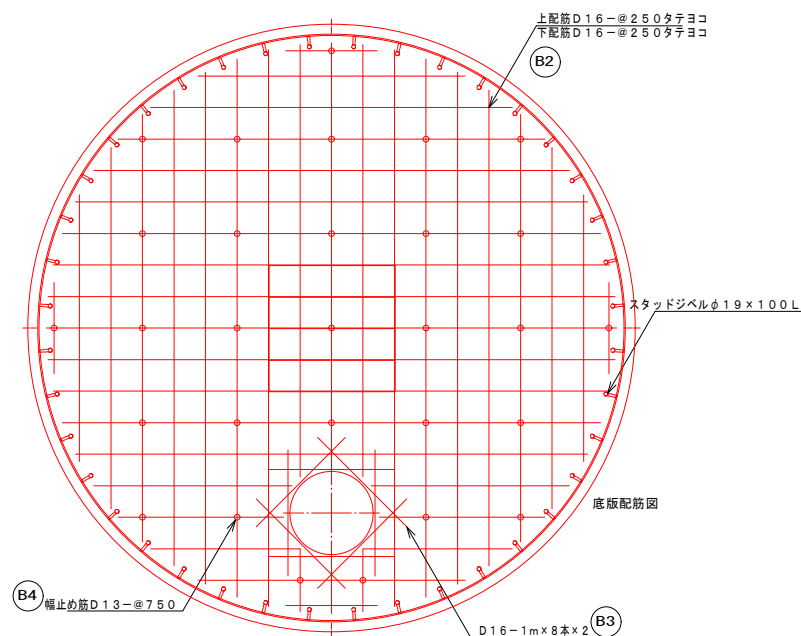
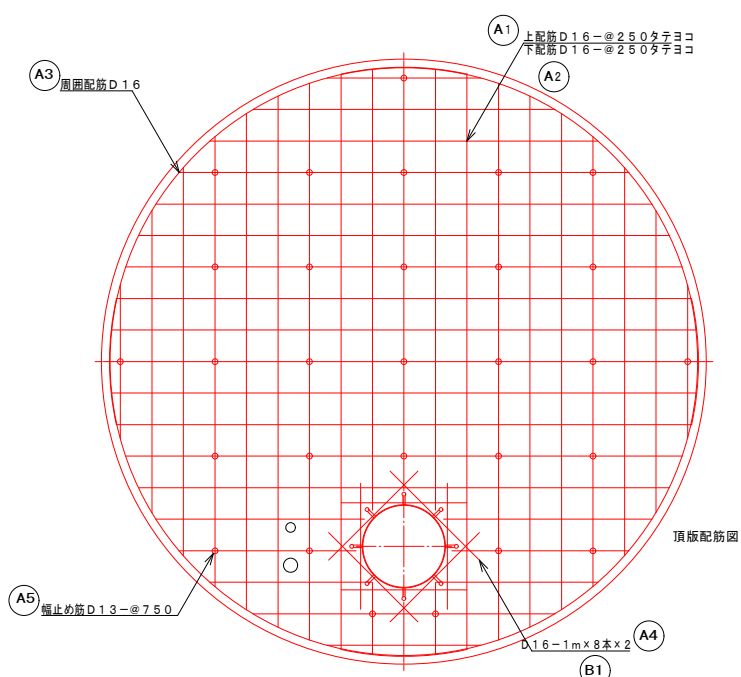
※工事施工(掘削、コンクリート工等)は、山形県土木工事共通仕様書に基づき施工すること。  
※貯水槽(躯体)は、二次製品のため製品メーカーの製品仕様書・要領通りとする。

令和 8 年度	国 番	8葉4
路線名又は河川名		
工事名	高坂地内耐震性貯水槽新設工事	
位置	山形県鶴岡市高坂地内	
埋設図、梯子詳細	1 葉 1	
縮尺 図示	鶴岡市	

# 配筋図 1

頂版部  
S=1/30

底盤部  
S=1/30



注記：本図を標準とし浮力対策必要物件では浮力条件に合わせて※1、※2を決定する。  
又、本図頂版形状が型枠の関係上円形に出来ない場合、※1でφ4800以上になる多角形とする。(なるべく円形に近くなるよう施工する。)  
底版部※2を変更する場合はそれに合せ掘削用治具を製作する。

V 4 1 AMP041

記号	名称	径	長さ	本数	一本当り重量	質量	備考
A1	上筋	D16	延べ長 133470	44	---	209.5	---
A2	下筋	D16	延べ長 133470	44	---	209.5	---
A3	周囲配筋	D16	4660	8	7.25	58	---
A4	補強筋	D16	1000	16	1.56	25	---
A5	幅止め筋	D13	420	29	0.41	12	---
合計 D16						502	kg
合計 D13						12	kg
総重量						514	kg
コンクリート体積 (24N/mm <sup>2</sup> )						5.70	m <sup>3</sup>

※鉄筋はSD295以上を使用

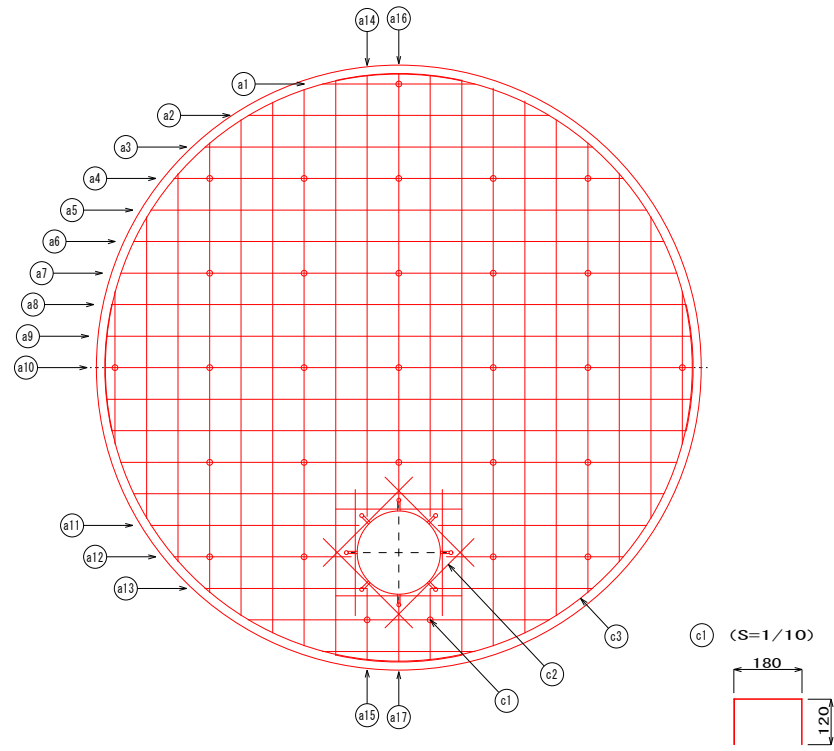
記号	名称	径	長さ	本数	一本当り重量	質量	備考
B1	上筋	D16	延べ長 132780	51	---	206	---
B2	下筋	D16	延べ長 132780	51	---	206	---
B3	補強筋	D16	1000	16	1.56	25	---
B4	幅止め筋	D13	520	29	0.52	15	---
合計 D16						437	kg
合計 D13						15	kg
総重量						452	kg
コンクリート体積 (24N/mm <sup>2</sup> )						6.97	m <sup>3</sup>
常温合材重量						199.8	kg

※鉄筋はSD295以上を使用

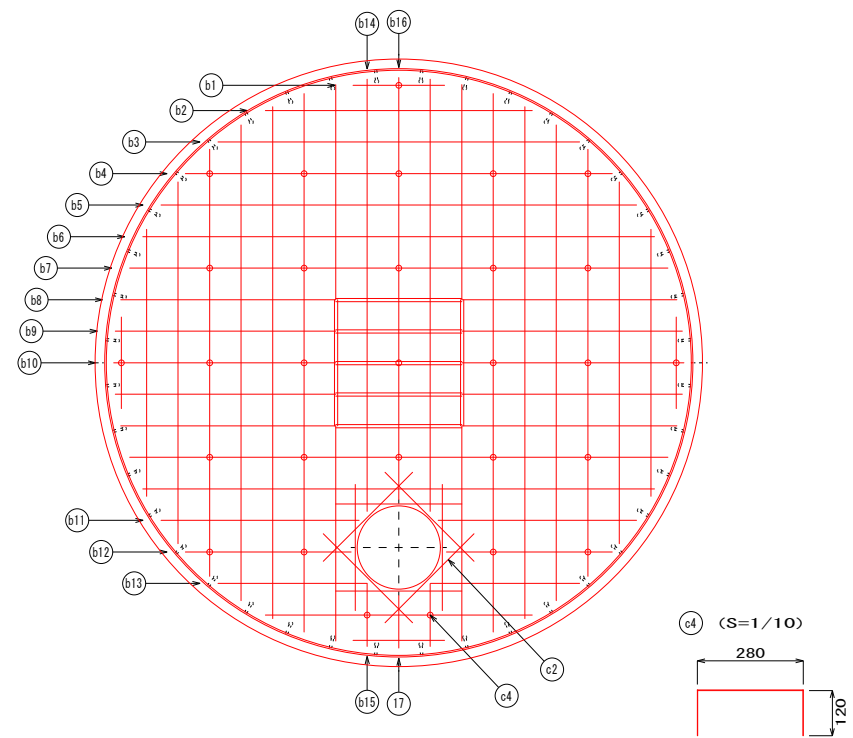
令和 8 年度	国 番	8葉5
路線名又は 河 川 名		
工 事 名	高坂地内耐震性貯水槽新設工事	
位 置	山形県鶴岡市高坂地内	
配筋図 1		2 葉 1
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

# 配筋図 1

頂版部 上下筋  
S=1/30



底版部 上下筋  
S=1/30

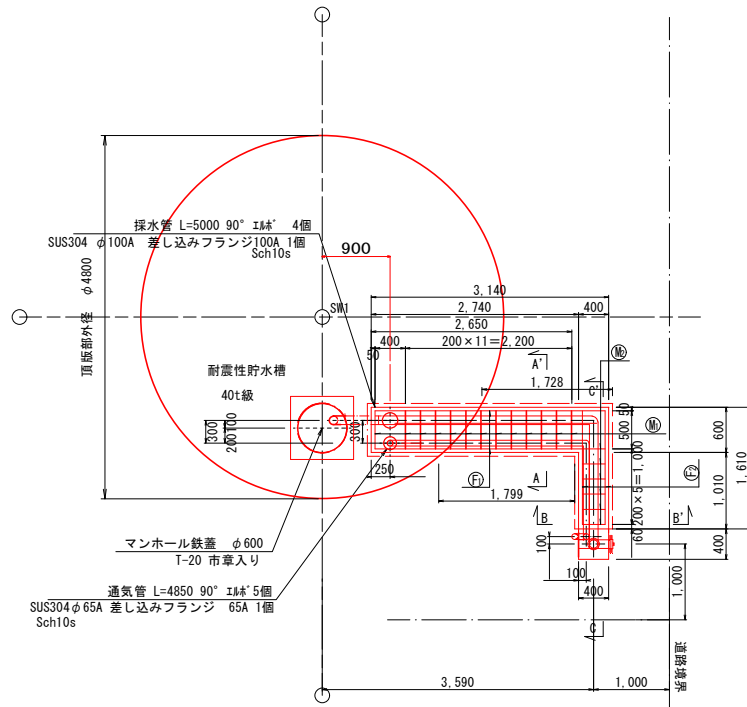


防火貯水槽本体鉄筋質量							
種別	径	長さ (mm)	本数	単位 質量	一本当たり 質量 (kg)	質量 (Kg)	形状・摘要
a1	D16	1,210	8	1.56	1.89	15.12	—
a2	D16	2,390	8	1.56	3.73	29.84	—
a3	D16	3,080	6	1.56	4.80	28.80	—
a4	D16	3,570	6	1.56	5.57	33.42	—
a5	D16	3,930	6	1.56	6.13	36.78	—
a6	D16	4,210	8	1.56	6.57	52.56	—
a7	D16	4,410	8	1.56	6.88	55.04	—
a8	D16	4,550	8	1.56	7.10	56.80	—
a9	D16	4,630	4	1.56	7.22	28.88	—
a10	D16	4,660	2	1.56	7.27	14.54	—
a11	D16	1,650	4	1.56	2.57	10.28	—
a12	D16	1,400	4	1.56	2.18	8.72	—
a13	D16	1,290	4	1.56	2.01	8.04	—
a14	D16	3,500	4	1.56	5.46	21.84	—
a15	D16	570	4	1.56	0.89	3.56	—
a16	D16	3,420	2	1.56	5.34	10.68	—
a17	D16	490	2	1.56	0.76	1.52	—
b1	D16	730	8	1.56	1.14	9.12	—
b2	D16	2,120	8	1.56	3.31	26.48	—
b3	D16	2,870	6	1.56	4.48	26.88	—
b4	D16	3,390	6	1.56	5.29	31.74	—
b5	D16	3,770	6	1.56	5.88	35.28	—
b6	D16	4,060	8	1.56	6.33	50.64	—
b7	D16	4,270	8	1.56	6.66	53.28	—
b8	D16	2,710	16	1.56	4.23	67.68	—
b9	D16	2,750	8	1.56	4.29	34.32	—
b10	D16	2,760	4	1.56	4.31	17.24	—
b11	D16	1,570	4	1.56	2.45	9.80	—
b12	D16	1,320	4	1.56	2.06	8.24	—
b13	D16	1,180	4	1.56	1.84	7.36	—
b14	D16	3,430	4	1.56	5.35	21.40	—
b15	D16	500	4	1.56	0.78	3.12	—
b16	D16	3,350	2	1.56	5.23	10.46	—
b17	D16	420	2	1.56	0.66	1.32	—
c1	D13	420	29	0.995	0.42	12.18	┌
c2	D16	1,000	32	1.56	1.56	49.92	—
c3	D16	4,660	8	1.56	7.27	58.16	R2330
c4	D13	520	29	0.995	0.52	15.08	┌
合計							
		D13			27.26 kg		
		D16			938.86 kg		
質量					966.12 kg		

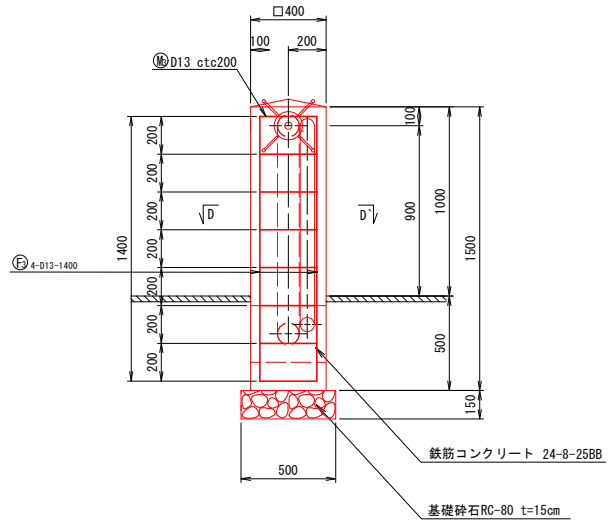
令和 8 年度	図 番	8葉6
路線名又は 河川名		
工事名	高坂地内耐震性貯水槽新設工事	
位置	山形県鶴岡市高坂地内	
配筋図 2		2 葉 2
縮尺 図示	鶴岡市	

サクシオン工構造図

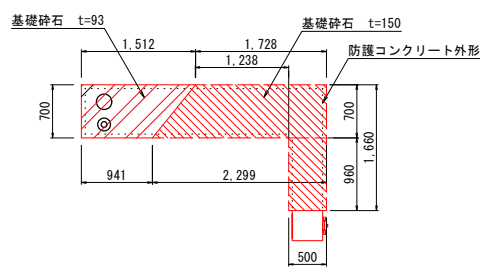
平面図  
S=1/50



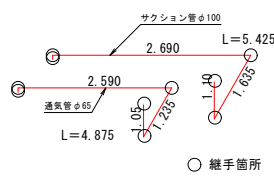
C - C`  
S=1/20



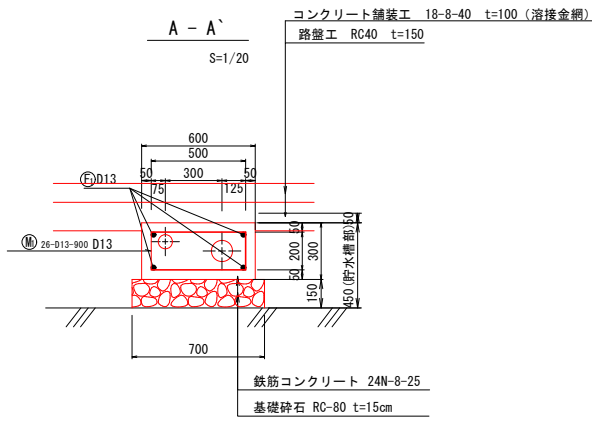
基礎砕石展開図  
S=1/50



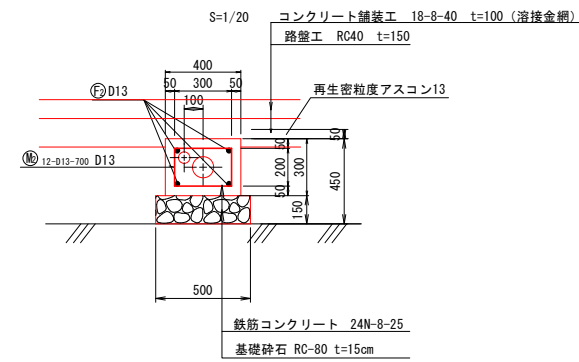
配管アイソメ図



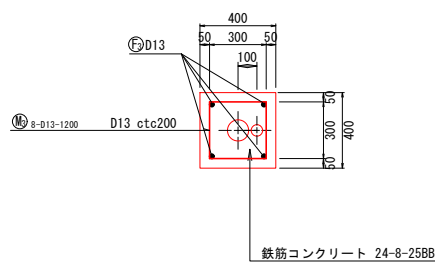
A - A`  
S=1/20



B - B`  
S=1/20



D - D`  
S=1/20

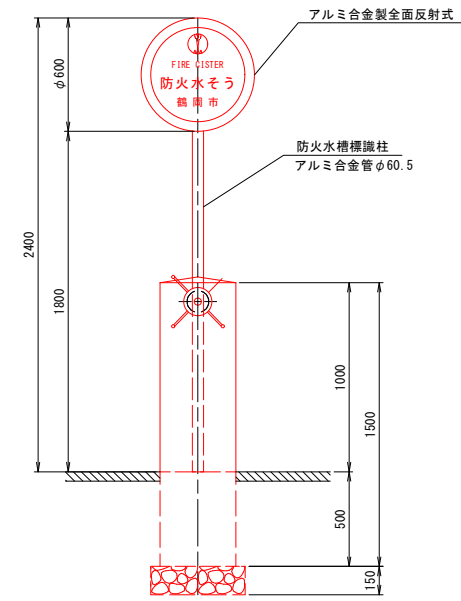


サクシオン 鉄筋質量						
種別	径	長さ mm	本数	単位質量	一本当たり質量 (kg)	質量 (kg)
F1	D13	3,040	2	0.995	3.02	6.04
F2	D13	1,500	2	0.995	1.49	2.98
F3	D13	1,400	4	0.995	1.39	5.56
M1	D13	900	26	0.995	0.90	23.40
M2	D13	700	12	0.995	0.70	8.40
M3	D13	1,300	8	0.995	1.29	10.32
合計					D13	56.7 kg
質量						56.7 kg

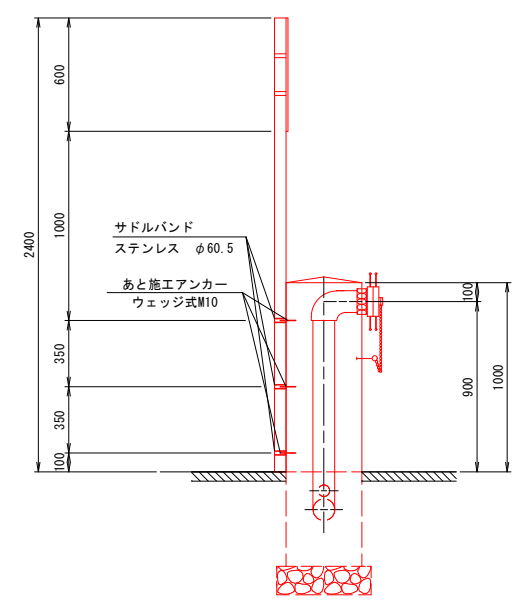
※鉄筋はすべてSD295Aとする

標識構造図(防火水槽)  
S=1/20

正面図

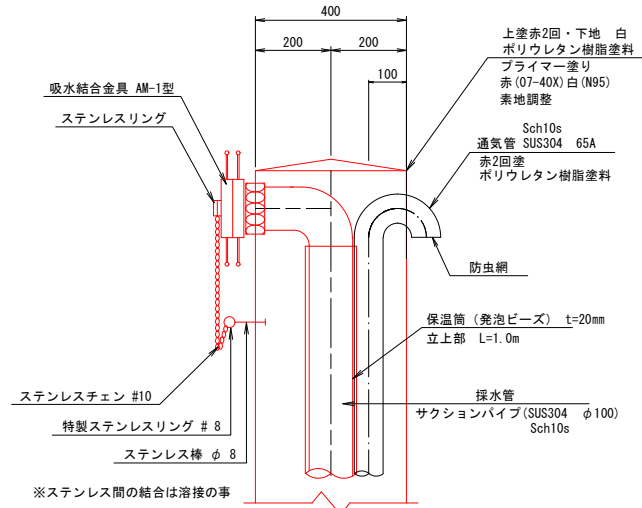


断面図

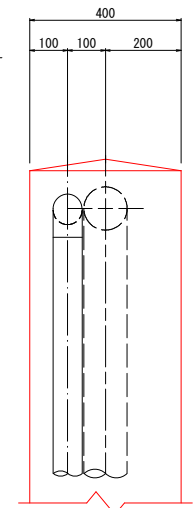


サクシオン構造図(立ち上げ部詳細図)  
S=1/10

断面図1

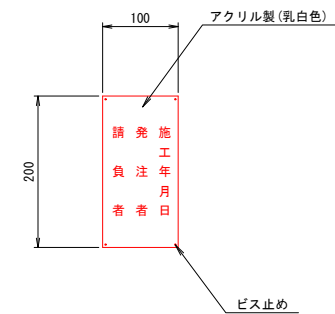


断面図2



銘板

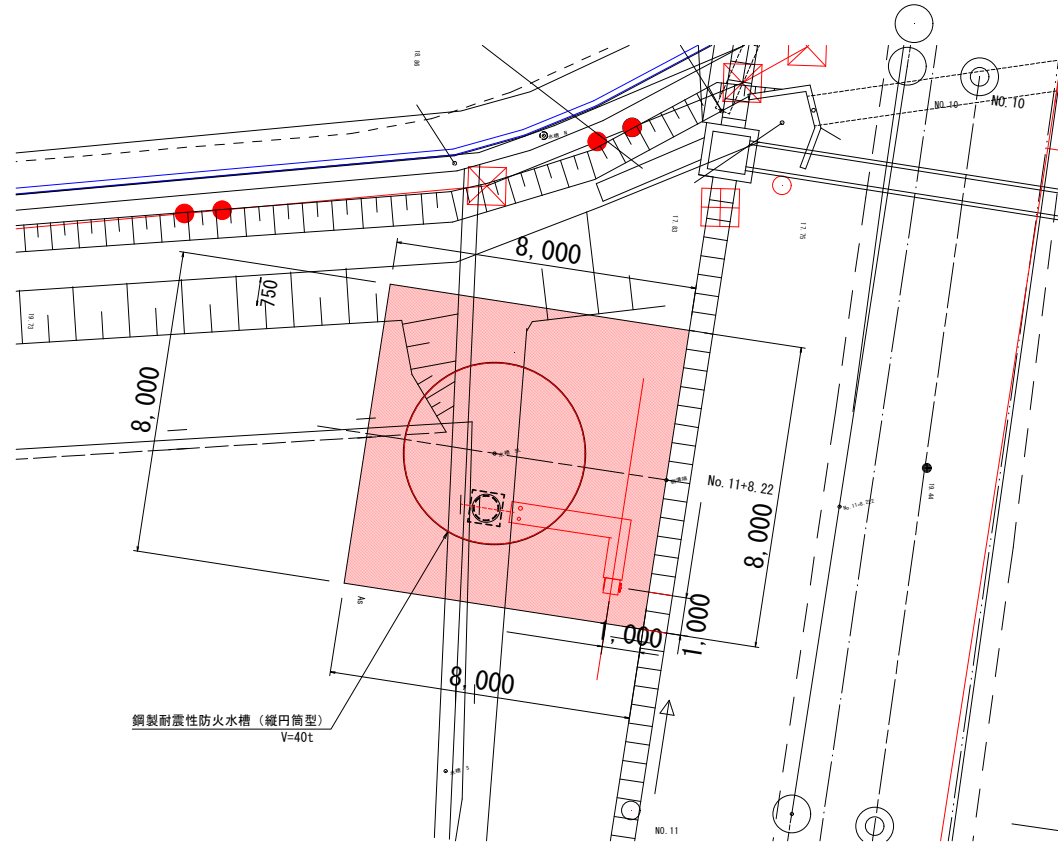
S=1/5



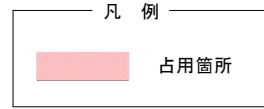
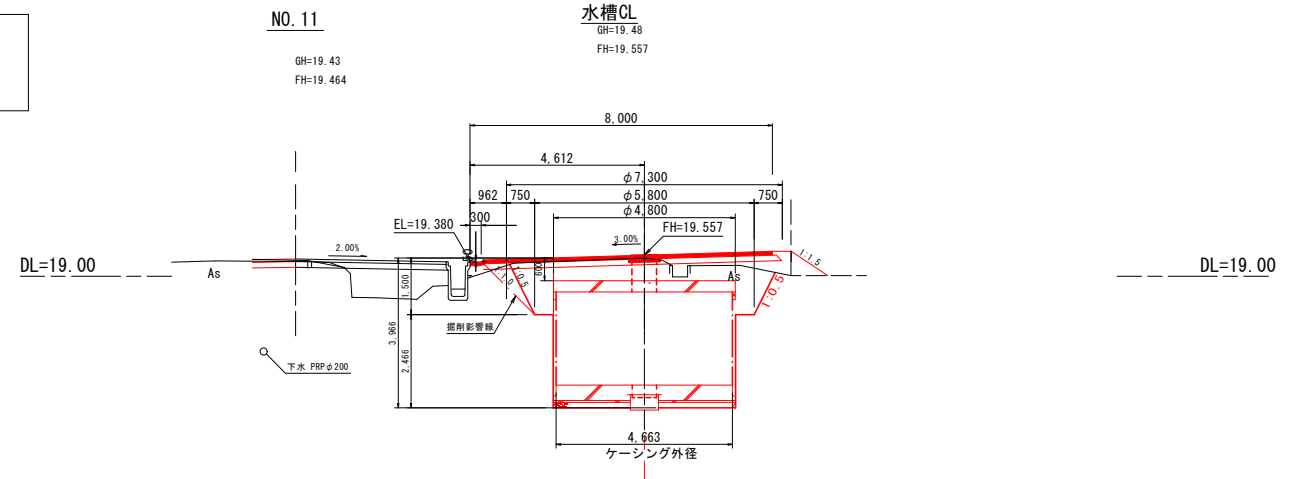
令和 8 年度	国 番	8葉7
路線名又は 河川名		
工事名	高坂地内耐震性貯水槽新設工事	
位置	山形県鶴岡市高坂地内	
サクシオン工構造図 1 葉 1		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

# 高坂地内耐震性貯舗装工兼占用面積図

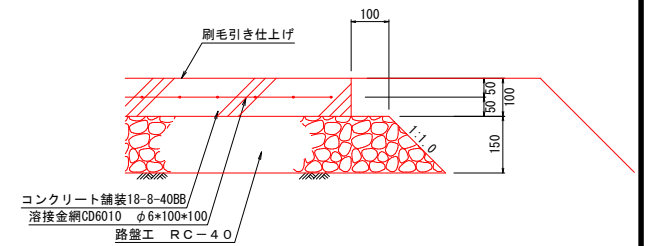
コンクリート舗装工（兼占用図）  
S=1/100



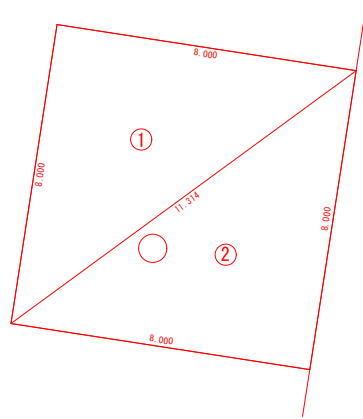
横断図  
S=1/100



コンクリート舗装断面図  
S=1/10

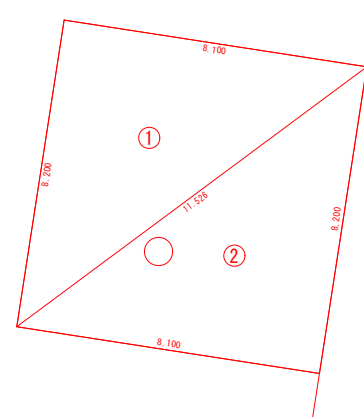


コンクリート舗装求積図（兼占用面積求積図）  
S=1/100



符号	辺A	辺B	辺C	面積 (㎡)
1	11.314	8.000	8.000	32.000
2	11.314	8.000	8.000	32.000
合計				64.000
マンホール扣除 0.315×2×3.14=0.312				
面積 64.000-0.312=63.688				63.69

舗装路盤工求積図  
S=1/100



符号	辺A	辺B	辺C	面積 (㎡)
1	11.526	8.100	8.200	33.210
2	11.526	8.100	8.200	33.210
合計				66.420
マンホール扣除 0.315×2×3.14=0.312				
面積 66.420-0.312=66.108				66.11

令和 8 年度	図 番	8葉8
路線名又は 河川名		
工事名	高坂地内耐震性貯水槽新設工事	
位 置	山形県鶴岡市高坂地内	
舗装工兼占用面積図		1 葉 1
縮 尺	図 示	鶴 岡 市

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名      高坂地内耐震性貯水槽設置工事

- 1) この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
- 2) この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。
- 3) 原則として、各種補正や単価等の金額に関する質問には回答できません。

鶴岡市消防本部警防課



第 1号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

床掘り/土砂、標準、無し、無し

土質:土砂、施工方法:標準、土留方式の種類:無し、障害の有無:無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			22.47			
K 1	バックホウ(クローラ型) 賃料/山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ), 排出ガス対策型(第2次基準値)	日	22.47			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			53.87			
R 1	運転手(特殊)	人	53.87			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			23.66			
Z 1	軽油/1.2号	ℓ	23.66			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{22.47}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{22.47}{22.47} \right. \\
 & + \left( \frac{53.87}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{53.87}{53.87} \\
 & + \left( \frac{23.66}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{23.66}{23.66} \\
 & \left. + \frac{100-22.47-53.87-23.66}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



第 2号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

床掘り/土砂、標準、自立式、無し

土質:土砂、施工方法:標準、土留方式の種類:自立式、障害の有無:無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			17.12			
K 1	バックホウ(クローラ型) 賃料/山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ), 排出ガス対策型(第2次基準値)	日	17.12			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			64.85			
R 1	運転手(特殊)	人	41.07			
R 2	普通作業員	人	23.78			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			18.03			
Z 1	軽 油/1.2号	ℓ	18.03			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{17.12}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{17.12}{17.12} \text{-----} \right. \\
 & + \left( \frac{41.07}{100} \times \text{-----} + \frac{23.78}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{64.85}{41.07+23.78} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{18.03}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{18.03}{18.03} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-17.12-64.85-18.03}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



第 3号単価表(施工P-01)  
埋戻し/上記以外(小規模)  
施工方法:上記以外(小規模)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			8.87			
K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準)	供/日	8.27			
K 2	タンパ及びランマ ランマ	供/日	0.60			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			87.15			
R 1	普通作業員	人	50.03			
R 2	特殊作業員	人	19.35			
R 3	運転手(特殊)	人	17.77			
R 4						
R 5						
材料Z			3.98			
Z 1	軽 油/1.2号	ℓ	3.14			
Z 2	ガソリン/レギュラー スタッド	ℓ	0.84			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{8.27}{100} \times \frac{8.87}{8.27+0.60} + \frac{0.60}{100} \times \frac{8.87}{8.27+0.60} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{50.03}{100} \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77} + \frac{19.35}{100} \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77} + \frac{17.77}{100} \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77} \right) \\
 & + \left( \frac{3.14}{100} \times \frac{3.98}{3.14+0.84} + \frac{0.84}{100} \times \frac{3.98}{3.14+0.84} \right) \\
 & \left. + \frac{100-8.87-87.15-3.98}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



第 4号単価表(施工P-01)  
埋戻し/上記以外(小規模)  
施工方法:上記以外(小規模)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			8.87			
K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準)	供/日	8.27			
K 2	タンパ°及びランマ ランマ	供/日	0.60			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			87.15			
R 1	普通作業員	人	50.03			
R 2	特殊作業員	人	19.35			
R 3	運転手(特殊)	人	17.77			
R 4						
R 5						
材料Z			3.98			
Z 1	軽 油/1.2号	ℓ	3.14			
Z 2	ガソリン/レギュラー スタッド°	ℓ	0.84			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{8.27}{100} \times \frac{8.87}{8.27+0.60} + \frac{0.60}{100} \times \frac{8.87}{8.27+0.60} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{50.03}{100} \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77} + \frac{19.35}{100} \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77} + \frac{17.77}{100} \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77} \right) \\
 & + \left( \frac{3.14}{100} \times \frac{3.98}{3.14+0.84} + \frac{0.84}{100} \times \frac{3.98}{3.14+0.84} \right) \\
 & \left. + \frac{100-8.87-87.15-3.98}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



第 5号単価表(施工P-01)  
基面整正

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K					
K 1					
K 2					
K 3					
K 4					
K 5					
労務 R		100.00			
R 1 普通作業員	人	100.00			
R 2					
R 3					
R 4					
R 5					
材料 Z					
Z 1					
Z 2					
Z 3					
Z 4					
Z 5					
市場 S					

$$\begin{aligned}
 P' = & \\
 & \times \left\{ \right. \\
 & + \left( \frac{100}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{100}{100} \text{-----} \\
 & + \\
 & \left. + \frac{100-100}{100} \text{-----} \right\} =
 \end{aligned}$$



第 6号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

土砂等運搬/標準、バックホウ山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>)、土砂(岩塊・玉石混  
 土砂等発生現場:標準、積込機種・規格:バックホウ山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>)  
 干質:土砂(岩塊・玉石混り干含む)、DID区間の有無:無し、運搬距離:9.5km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			44.67			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル	供/日	44.67			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			40.44			
R 1	運転手(一般)	人	40.44			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			14.89			
Z 1	軽 油/1.2号	ℓ	14.89			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{44.67}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{44.67}{44.67} \right. \\
 & + \left( \frac{40.44}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{40.44}{40.44} \\
 & + \left( \frac{14.89}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{14.89}{14.89} \\
 & \left. + \frac{100-44.67-40.44-14.89}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

第 7号

基礎碎石

1㎡当たり

単価表

12.5cmを超え17.5cm以下 RC-80

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基礎碎石	12.5cmを超え17.5cm以下	㎡	1			施工P-01
	碎石の厚さ:12.5cmを超え17.5cm以下					
計						

第 7号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

基礎碎石/12.5cmを超え17.5cm以下

碎石の厚さ:12.5cmを超え17.5cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			5.04			
K 1	バックホウ(クローラ型) 賃料/山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ), 排出ガス対策型(第2次基準値)	日	5.01			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			74.10			
R 1	普通作業員	人	35.62			
R 2	特殊作業員	人	15.04			
R 3	運転手(特殊)	人	13.95			
R 4	土木一般世話役	人	8.98			
R 5						
材料 Z			20.86			
Z 1	再生クラッシャーラン/粒径0~80mm(無規格品)	m <sup>3</sup>	16.17			
Z 2	軽油/1.2号	ℓ	4.66			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{5.01}{100} \times \frac{5.04}{5.01} \right) + \left( \frac{35.62}{100} \times \frac{35.62}{35.62+15.04+13.95+8.98} + \frac{15.04}{100} \times \frac{15.04}{35.62+15.04+13.95+8.98} + \frac{13.95}{100} \times \frac{13.95}{35.62+15.04+13.95+8.98} + \frac{8.98}{100} \times \frac{8.98}{35.62+15.04+13.95+8.98} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{16.17}{100} \times \frac{16.17}{16.17+4.66} + \frac{4.66}{100} \times \frac{4.66}{16.17+4.66} \right) \times \frac{20.86}{16.17+4.66} \\
 & \left. + \frac{100-5.04-74.10-20.86}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



第 8号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

コンクリート/無筋・鉄筋構造物、ハックル(クレーン機能付)打設、18-8-40

構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:ハックル(クレーン機能付)打設、コンクリート規格:18-8-40(高炉)、養生工の種類:一般養生

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			3.50			
K 1	ハックル(クローラ型・クレーン付)賃料/山積0.8m <sup>3</sup> , 2.9吊	日	3.31			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			34.96			
R 1	特殊作業員	人	10.07			
R 2	普通作業員	人	9.38			
R 3	土木一般世話役	人	7.04			
R 4	運転手(特殊)	人	6.40			
R 5						
材料 Z			61.54			
Z 1	生コンクリート/18-8-40 W/C≦60 高炉	m <sup>3</sup>	59.80			
Z 2	軽油/1.2号	ℓ	1.65			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

$$\begin{aligned}
 P' = & \\
 & \times \left\{ \left( \frac{3.31}{100} \times \frac{3.50}{3.31} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{10.07}{100} \times \frac{10.07}{10.07} + \frac{9.38}{100} \times \frac{9.38}{9.38} + \frac{7.04}{100} \times \frac{7.04}{7.04} + \frac{6.40}{100} \times \frac{6.40}{6.40} \right) \times \frac{34.96}{10.07+9.38+7.04+6.40} \\
 & + \left( \frac{59.80}{100} \times \frac{59.80}{59.80} + \frac{1.65}{100} \times \frac{1.65}{1.65} \right) \times \frac{61.54}{59.80+1.65} \\
 & \left. + \frac{100-3.50-34.96-61.54}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$









第 12号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

コンクリート/無筋・鉄筋構造物、ハック杓(クレーン機能付)打設、24-12-25

構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:ハック杓(クレーン機能付)打設、コンクリート規格:24-12-25、養生工の種類:一般養生

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			3.50			
K 1	ハック杓(クローラ型・クレーン付)賃料/山積0.8m <sup>3</sup> , 2.9吊	日	3.31			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			34.96			
R 1	特殊作業員	人	10.07			
R 2	普通作業員	人	9.38			
R 3	土木一般世話役	人	7.04			
R 4	運転手(特殊)	人	6.40			
R 5						
材料 Z			61.54			
Z 1	生コンクリート/24-12-25 W/C≤55 普通	m <sup>3</sup>	59.80			
Z 2	軽油/1.2号	ℓ	1.65			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{3.31}{100} \times \frac{3.50}{3.31} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{10.07}{100} \times \frac{34.96}{10.07+9.38+7.04+6.40} + \frac{9.38}{100} \times \frac{34.96}{10.07+9.38+7.04+6.40} + \frac{7.04}{100} \times \frac{34.96}{10.07+9.38+7.04+6.40} + \frac{6.40}{100} \times \frac{34.96}{10.07+9.38+7.04+6.40} \right) \\
 & + \left( \frac{59.80}{100} \times \frac{61.54}{59.80+1.65} + \frac{1.65}{100} \times \frac{61.54}{59.80+1.65} \right) \times \frac{61.54}{59.80+1.65} \\
 & \left. + \frac{100-3.50-34.96-61.54}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



第 13号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

コンクリート/無筋・鉄筋構造物、人力打設、24-12-25(20)(高炉)、一般養生

構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:24-12-25、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:無し

名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K					
K 1					
K 2					
K 3					
K 4					
K 5					
労務 R		28.68			
R 1 普通作業員	人	12.85			
R 2 特殊作業員	人	7.30			
R 3 土木一般世話役	人	6.58			
R 4					
R 5					
材料 Z		71.32			
Z 1 生コンクリート/24-12-25 W/C≦55 普通	m <sup>3</sup>	71.32			
Z 2					
Z 3					
Z 4					
Z 5					
市場 S					

P' =

× {

$$+ \left( \frac{12.85}{100} \times \frac{28.68}{12.85+7.30+6.58} + \frac{7.30}{100} \times \frac{28.68}{12.85+7.30+6.58} + \frac{6.58}{100} \times \frac{28.68}{12.85+7.30+6.58} \right) \times \frac{28.68}{12.85+7.30+6.58}$$

$$+ \left( \frac{71.32}{100} \times \frac{71.32}{71.32} \right) \times \frac{71.32}{71.32}$$

$$+ \frac{100-28.68-71.32}{100} \} =$$

第 14号

型枠工

1㎡当たり

単価表

鉄筋・無筋構造物（円形合板型枠使用）

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物（合板円形型枠使用）	㎡	1			施工P-01
	型枠の種類：一般型枠 構造物の種類：鉄筋・無筋構造物（合板円形型枠使用）					
計						

第 14号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

型枠／一般型枠、鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)

型枠の種類:一般型枠、構造物の種類:鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)

名 称		規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K						
	K 1						
	K 2						
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務	R			100.00			
	R 1	型わく工	人	45.23			
	R 2	普通作業員	人	32.52			
	R 3	土木一般世話役	人	9.97			
	R 4						
	R 5						
材料	Z						
	Z 1						
	Z 2						
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場	S						

P' =

× {

$$+ \left( \frac{45.23}{100} \times \text{-----} + \frac{32.52}{100} \times \text{-----} + \frac{9.97}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{100}{45.23+32.52+9.97}$$

+

$$+ \left. \text{-----} \frac{100-100}{100} \text{-----} \right\} =$$









第 19号 1式当たり 単価表

サクション設置

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
差し込みフランジ	SUS 白管ネジ無 100A 10K	枚	1			
サクションパイプ	SGP 白管ネジ無し 100A 10K	m	5			
ポリウレタンフォーム保温筒	100A t=20mm	m	1			
継手管	エルボ90° φ100A	個	4			
吸水結合金具	AM-1型 キャップチェーン含む	台	1			
小口径管布設(人力)据付工	呼び径100	m	5			第 29号単価表
小口径管ねじ込み接合	呼び径100	口	4			第 30号単価表
フランジ継手	呼び径100、ボルト数4本	口	1			第 31号単価表
計						



第 21号

## 防護コンクリート工

1式当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基面整正		m <sup>2</sup>	2			施工P-01
基礎碎石	12.5cmを超え17.5cm以下	m <sup>2</sup>	2			施工P-02
	碎石の厚さ:12.5cmを超え17.5cm以下					
基礎碎石	7.5cmを超え12.5cm以下	m <sup>2</sup>	1			施工P-03
	碎石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下					
鉄筋工	一般構造物 SD295	t	0.057			第 36号単価表
型枠	一般型枠、小型構造物	m <sup>2</sup>	3			施工P-04
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:小型構造物					
コンクリート	小型構造物、人力打設、24-8-25(高炉)、一般養生、無し	m <sup>3</sup>	0.7			施工P-05
	構造物種別:小型構造物 打設工法:人力打設 コンクリート規格:24-8-25					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:無し					
計						

第 21号単価表(施工P-01)  
基面整正

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			100.00			
R 1	普通作業員	人	100.00			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z						
Z 1						
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

$$\begin{aligned}
 P' &= \\
 &\times \left\{ \right. \\
 &+ \left( \frac{100}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{100}{100} \text{-----} \\
 &+ \\
 &\quad \left. + \frac{100-100}{100} \text{-----} \right\} =
 \end{aligned}$$

第 21号単価表(施工P-02)

基礎砕石/12.5cmを超え17.5cm以下

砕石の厚さ:12.5cmを超え17.5cm以下

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			5.04			
K 1	バックホウ(クローラ型) 賃料/山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ), 排出ガス対策型(第2次基準値)	日	5.01			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			74.10			
R 1	普通作業員	人	35.62			
R 2	特殊作業員	人	15.04			
R 3	運転手(特殊)	人	13.95			
R 4	土木一般世話役	人	8.98			
R 5						
材料 Z			20.86			
Z 1	再生クラッシャーラン/粒径0~80mm(無規格品)	m <sup>3</sup>	16.17			
Z 2	軽油/1.2号	ℓ	4.66			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

$$\begin{aligned}
 P' = & \\
 & \times \left\{ \left( \frac{5.01}{100} \times \frac{5.04}{5.01} \right) + \left( \frac{35.62}{100} \times \frac{35.62}{35.62+15.04+13.95+8.98} + \frac{15.04}{100} \times \frac{15.04}{35.62+15.04+13.95+8.98} + \frac{13.95}{100} \times \frac{13.95}{35.62+15.04+13.95+8.98} + \frac{8.98}{100} \times \frac{8.98}{35.62+15.04+13.95+8.98} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{16.17}{100} \times \frac{16.17}{16.17+4.66} + \frac{4.66}{100} \times \frac{4.66}{16.17+4.66} \right) \times \frac{20.86}{16.17+4.66} \\
 & \left. + \frac{100-5.04-74.10-20.86}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

第 21号単価表(施工P-03)

基礎碎石/7.5cmを超え12.5cm以下

碎石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.33			
K 1	バックホウ(クローラ型) 賃料/山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ), 排出ガス対策型(第2次基準値)	日	5.30			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			78.32			
R 1	普通作業員	人	37.64			
R 2	特殊作業員	人	15.90			
R 3	運転手(特殊)	人	14.75			
R 4	土木一般世話役	人	9.49			
R 5						
材料 Z			16.35			
Z 1	再生クラッシャーラン/粒径0~80mm(無規格品)	m <sup>3</sup>	11.39			
Z 2	軽油/1.2号	ℓ	4.93			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{5.30}{100} \times \frac{5.33}{5.30} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{37.64}{100} \times \frac{37.64}{37.64+15.90+14.75+9.49} + \frac{15.90}{100} \times \frac{15.90}{37.64+15.90+14.75+9.49} + \frac{14.75}{100} \times \frac{14.75}{37.64+15.90+14.75+9.49} + \frac{9.49}{100} \times \frac{9.49}{37.64+15.90+14.75+9.49} \right) \\
 & + \left( \frac{11.39}{100} \times \frac{11.39}{11.39+4.93} + \frac{4.93}{100} \times \frac{4.93}{11.39+4.93} \right) \times \frac{16.35}{11.39+4.93} \\
 & \left. + \frac{100-5.33-78.32-16.35}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

第 21号単価表(施工P-04)

型枠／一般型枠、小型構造物

型枠の種類:一般型枠、構造物の種類:小型構造物

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			100.00			
R 1	型わく工	人	44.28			
R 2	普通作業員	人	30.82			
R 3	土木一般世話役	人	11.86			
R 4						
R 5						
材料 Z						
Z 1						
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

× {

$$+ \left( \frac{44.28}{100} \times \text{-----} + \frac{30.82}{100} \times \text{-----} + \frac{11.86}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{100}{44.28+30.82+11.86}$$

+

$$+ \left. \text{-----} \frac{100-100}{100} \text{-----} \right\} =$$

第 21号単価表(施工P-05)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

コンクリート/小型構造物、人力打設、24-8-25(高炉)、一般養生、無し

構造物種別:小型構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:24-8-25、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			41.15			
R 1	普通作業員	人	22.25			
R 2	土木一般世話役	人	9.19			
R 3	特殊作業員	人	7.69			
R 4						
R 5						
材料 Z			58.85			
Z 1	生コンクリート/24-8-25 W/C≦55 普通	m <sup>3</sup>	58.85			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

× {

$$+ \left( \frac{22.25}{100} \times \frac{41.15}{22.25+9.19+7.69} + \frac{9.19}{100} \times \frac{41.15}{22.25+9.19+7.69} + \frac{7.69}{100} \times \frac{41.15}{22.25+9.19+7.69} \right) \times \frac{41.15}{22.25+9.19+7.69}$$

$$+ \left( \frac{58.85}{100} \times \frac{58.85}{58.85} \right) \times \frac{58.85}{58.85}$$

$$+ \frac{100-41.15-58.85}{100} \} =$$





第 23号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

コンクリート/無筋・鉄筋構造物、ハックホ(クレーン機能付)18-8-40一般養生

構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:ハックホ(クレーン機能付)打設、コンクリート規格:18-8-40、養生工の種類:一般養生

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			3.50			
K 1	ハックホ(クローラ型・クレーン付)賃料/山積0.8m <sup>3</sup> , 2.9吊	日	3.31			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			34.96			
R 1	特殊作業員	人	10.07			
R 2	普通作業員	人	9.38			
R 3	土木一般世話役	人	7.04			
R 4	運転手(特殊)	人	6.40			
R 5						
材料 Z			61.54			
Z 1	生コンクリート/18-8-40 W/C≦60 高炉	m <sup>3</sup>	59.80			
Z 2	軽油/1.2号	ℓ	1.65			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{3.31}{100} \times \frac{3.50}{3.31} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{10.07}{100} \times \frac{34.96}{10.07+9.38+7.04+6.40} + \frac{9.38}{100} \times \frac{34.96}{10.07+9.38+7.04+6.40} + \frac{7.04}{100} \times \frac{34.96}{10.07+9.38+7.04+6.40} + \frac{6.40}{100} \times \frac{34.96}{10.07+9.38+7.04+6.40} \right) \\
 & + \left( \frac{59.80}{100} \times \frac{61.54}{59.80+1.65} + \frac{1.65}{100} \times \frac{61.54}{59.80+1.65} \right) \times \frac{61.54}{59.80+1.65} \\
 & \left. + \frac{100-3.50-34.96-61.54}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$







第 26号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

型枠／一般型枠、均しコンクリート

型枠の種類:一般型枠、構造物の種類:均しコンクリート

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		100.00			
	R 1 型わく工	人	58.78			
	R 2 普通作業員	人	19.90			
	R 3 土木一般世話役	人	6.07			
	R 4					
	R 5					
材料	Z					
	Z 1					
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left( \frac{58.78}{100} \times \text{-----} + \frac{19.90}{100} \times \text{-----} + \frac{6.07}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{100}{58.78+19.90+6.07}$$

+

$$+ \left. \text{-----} \frac{100-100}{100} \text{-----} \right\} =$$



第 27号単価表(施工P-01)

下層路盤(歩道部) / 実数入力、1層施工

全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 150mm

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			5.00			
K 1	小型バックホ(クロー型) 超低騒・後方超小旋 排対型(3次基準)	供/日	2.99			
K 2	振動ロー(搭乗式・コンパクト型) 賃料/質量3~4 t	日	1.78			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			75.15			
R 1	運転手(特殊)	人	27.03			
R 2	特殊作業員	人	15.84			
R 3	普通作業員	人	15.70			
R 4	土木一般世話役	人	13.01			
R 5						
材料Z			19.85			
Z 1	再生クラッシャーラン/RC-40	m <sup>3</sup>	17.77			
Z 2	軽 油/1.2号	ℓ	1.99			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

$$\begin{aligned}
 P' = & \\
 & \times \left\{ \left( \frac{2.99}{100} \times \frac{5.00}{2.99+1.78} + \frac{1.78}{100} \times \frac{5.00}{2.99+1.78} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{27.03}{100} \times \frac{75.15}{27.03+15.84+15.70+13.01} + \frac{15.84}{100} \times \frac{75.15}{27.03+15.84+15.70+13.01} \right. \\
 & + \left. \left. \left( \frac{17.77}{100} \times \frac{19.85}{17.77+1.99} + \frac{1.99}{100} \times \frac{19.85}{17.77+1.99} \right) \right. \right. \\
 & \left. \left. + \frac{100-5.00-75.15-19.85}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

































